

## カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター  
 実施機関名：人材開発マネジメント株式会社

<b>A. バックオフィス</b>	<b>財務管理</b>	<b>企業価値を上げるための財務管理</b>
-------------------	-------------	------------------------

コースのねらい	財務の概念と財務諸表の構造を知り、コスト、資金管理、財務分析の手法を理解することで、企業価値を上げるための財務管理に関する知識を習得する。
---------	-----------------------------------------------------------------------

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
指導内容	1	財務の概念と財務諸表 (1) 財務管理と財務諸表の概要 ・財務管理に係る意義と目的について解説し、財務諸表三表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書)について、それぞれの役割と関係性について理解する。 (2) 貸借対照表 ・一定時点の財産と権利をあらわす表としての構造と読み方、活用方法について理解する。 【演習あり】【個人ワーク&グループワーク】 (3) 損益計算書 ・一定期間の経営成績を収益、費用、利益からみられることについて理解する。【演習あり】 【個人ワーク&グループワーク】 (4) キャッシュフロー計算書 ・一会計期間の現金の動きを営業・投資・財務の3つの構造で理解する。【演習あり】	1.5
	2	コストと資金管理 (1) 概念とコストコントロール ・コストコントロールとは原価管理のことであり、経費を正しく利用して利益を確保することの重要性を理解する。【演習あり】 【個人ワーク&グループワーク】 (2) 資金管理の概要 ・長期・短期の資金について特定期間の調達・運用のフロー、特定時点の残高の計画・統制活動について理解する。 (3) 設備投資 ・設備投資計画と採算性について解説し、自社の設備投資のタイミングを考える。 (4) 資金計画 ・資金計画作成の意味と概要について解説する。【演習あり】 【個人ワーク&グループワーク】	1.5
	3	財務分析と財務計画 (1) 財務分析の概要 ・財務分析の4視点(安全性、収益性、生産性、成長性)と活用方法について理解する。 (2) 財務分析方法 ・4視点における分析手法についてその目的と分析方法を理解する。 【演習あり】 (3) 財務分析の活用 ・知りたい情報によって安全性・収益性・生産性・成長性を分析し、達成したい指標について理解する。【演習あり】 【財務分析の活用と演習】 【個人ワーク&グループワーク】 (4) 財務計画の概要 ・企業内の財務の継続的な安定性と流動性を確保する意味について理解する。【グループワーク】	3.0
		合計時間	6.0

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	
	●機器・ソフトウェア(講師用・その他) ・PC(講師用) ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード OS: Windows8または10 アプリケーション: Microsoft Office 2010または2016 PowerPoint, Excel
●テキスト	
自作テキスト	●その他 ・コロナ感染症防止、3密対策を行います。 ・研修効果を高めるため、演習は複数人で行います。 ・グループ討議は班に分かれて進めます。